2023年度　愛川ふれあいの村主催事業　活動報告書

# おやこで！あいかわ森のようちえん～春～

神奈川県立 愛川ふれあいの村

■開催日：2023年６月28日(水)　　■参加者数：２名

■ディレクター名：三好　真由（みよっしー）

■担当スタッフ（キャンプネーム）：

おぐマン、もっきー

■事業のねらい

●森のようちえんの活動を通して、自然あそびの楽しさを知る。

●子ども同士のかかわり合いの中で、あそびを創り出す力を養う。

■活動内容

集合、はじまりのつどい
虫探し
おやつタイム
泥あそび
おわりのつどい

手で虫を捕まえられるか挑戦！素早くて小さい虫でも自分で捕まえられていました。

クモの糸にぶら下がる葉っぱを取りたい！届きそうで届かない高さに頑張る2人。

「やったー！取れたー！」
「見せて見せてー！」

モグラ塚を掘ってみよう！
…うわぁ！大きいミミズだ！
家を元に戻してあげよう。

川を作って水を流し、池を作って水を溜める。泥の感触や水の温度も、手で楽しめたね。

作った池に水を増やそう！
「せーの」で流す水が飛び散って冷たかったね。

■事業のエピソード

**これ使っていいよ！**

モグラ塚を掘りたいけど、虫捕り網は汚したくないというAくん。いい棒がないか探していると、Bくんが「これ使っていいよ！」と、自分で作った木のお箸を片方渡しました。そしてBくんも、もう片方のお箸でモグラ塚を一緒に掘り始めました。

Bくんがお箸を貸してくれたからこそ、一緒に掘り進めたモグラ塚で、ミミズと出会えました。この優しい行動が、自然の楽しさに出会うきっかけになりましたね。

**自分が持てる分**

子どもたちの希望で、池に水を増やすためのバケツを渡しました。水を運ぶのも子どもたち。初めは、水を多く溜めすぎて、スタッフと一緒に運びました。その後、再び水を汲みに行ったときに、「自分が1人で持てる分だけ入れてごらん」とスタッフが言うと、水の量を調節して、1人で運んでいました。

こうして、「これくらいならできる」という、自分の能力の基準を身につけていくのでしょう。